

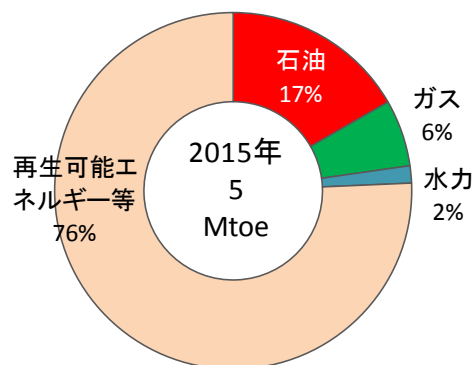
5-10 ガボン

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 5 百万 toe (日本の 0.01 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 2.94toe (日本の 0.87 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 314%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 3.2 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 0.3%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 1.90 CO₂ 換算 ton (日本の 21.1%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 24.1 年、天然ガス N.A.

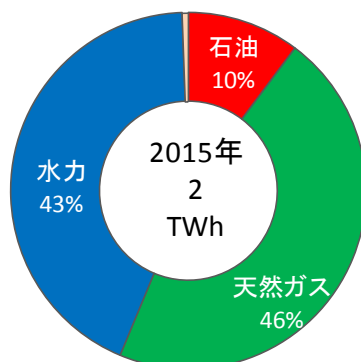
一次エネルギー供給構成 (2015 年)



Country: Gabon

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



Country: Gabon

(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 石油・天然ガスの開発を中心とした政策を石油・炭化水素省が、国内供給を中心とした政策をエネルギー・水資源省が所管する。2017年11月時点の石油・炭化水素大臣は Pascal HOUAGNI AMBOUROUE が、エネルギー・水資源大臣は Patrick EYOGO EDZANG である。

(2) 基本政策

- 原油生産・輸出がガボンの重要な産業・財源であるが、原油生産量が1996年の36.5万b/dをピークに減少傾向にある。そのため、新たな石油資源の開発と生産量の回復と同時に、原油輸出に依存しない経済構造の確立が優先課題となっている。
- 随伴ガスはその多くが燃焼処理されており、この有効活用が求められている。
- 国内へのエネルギー供給では、電力へのアクセス率の改善と、必要な電源開発が優先課題となっている。

(3) 最近の動向

- 2016年6月のOPEC総会で、同年7月よりガボンのOPEC再加盟が承認された。
- 2016年9月、Ali-Ben Bongo Ondimba大統領が再選を果たし、Emmanuel Issoze Ngondet 外務・仏語圏・地域統合大臣を新首相に任命し、「開かれた内閣」の組閣を命じた。
- 2017年1月、英蘭Shell・Gabonは、60年にわたるガボンでの生産活動から撤退を決定し、米国Carlyleグループに対して油田資産を売却した。
- 2017年2月、仏Totalは、Perencoにガボンの油田資産を売却した。
- 2017年6月、世界銀行は、2年間で総額6億8,150万ドルの対ガボン支援を発表した。
- 2017年6月、IMF理事会は2017年から2020年にかけての総額6億4,200万ドルの対ガボン融資を決定した。
- 2017年8月、Ali-Ben Bongo Ondimba大統領は内閣改造を行った。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 我が国の対ガボンからの原油輸入は、2015年度の31.3万klであったが、2016年度は輸入が無かった。石油製品及びLNGについても、2015年度、2016年度共に輸入は無かった。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Gabon

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		5 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.94 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.27 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		314 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		3.2 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		1.90 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	17 %
	天然ガス	6 %
	原子力	0 %
	水力	2 %
	再生可能エネルギー等	76 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-214 %
(9) 石油の輸入依存度		-1,282 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸出先	第1位	中国
	第2位	イタリア
	第3位	オーストラリア

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(11) : World Oil Trade, November 2016, Wiley Blackwell および

中国、インドの輸入統計による推計